

入学者の募集・選抜について

応募資格並びに入学者選抜の実施内容等については、茨城県教育委員会が正式決定後に茨城県教育委員会のホームページ、本校ホームページでお知らせします。

■ 選抜検査の日程（予定）

事 項	期 間
出 願 受 付 期 間	令和8年 12 月1日 (火)～令和8年 12 月3日 (木) 必着 ※簡易書留の配達日指定郵便で郵送、持参による提出は不可
選 抜 検 査 実 施	令和9年1月 9 日 (土)
合 格 者 発 表	令和9年1月 21 日 (木) ※インターネット 9：00～24：00
入 学 確 約 書 提 出	令和9年1月 21 日 (木) 13：00～16：00 令和9年1月 22 日 (金) 9：00～16：00

■ 出身校別生徒数

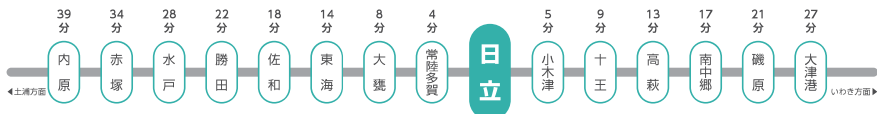
中郷第一	1	水 木	4	菅谷西	1
精 華	6	大みか	7	額 田	1
華 川	1	大 沼	6	東石川	5
明 徳	3	金 沢	1	前 渡	1
関 南	3	塙 山	3	佐 野	11
平 潟	1	油縄子	3	堀 口	5
関 本	1	田 尻	5	高 野	3
高 萩	1	日 高	4	田 彦	5
東	1	豊 浦	6	長 堀	3
松 岡	2	久 慈	4	外 野	3
秋 山	1	坂本東	4	中 根	1
助 川	13	堀 形	4	那珂湊第三	1
会 瀬	6	中 里	3	三の丸	2
宮 田	11	太 田	4	千 波	1
滑 川	6	峰 山	2	内 原	3
仲 町	1	菅 田	1	大 洗	1
中小路	3	白 方	4	リリーベール	7
大久保	23	中 石	14	東 風	1
河原子	4	丸 神	1	越谷市立明正	1
成 沢	2	舟石川	6		
藤 訪	4	村 松	3		

■ 通学について

上り線		下り線	
常陸多賀	39	小本津	5
大みか	25	十王	9
東海	30	高萩	5
佐和	17	南中郷	0
勝田	22	磯原	11
水戸	8	大津港	4
赤塚	0		
内原	4		
友部	0		

バス	19	J R利用	168名
自転車	4	J R以外	71名
徒歩	28		
その他	20		

■ 通学時間の目安



茨城県立日立第一高等学校附属中学校

7317-0063

茨城県日立市若葉町3丁目15番1号

TEL 0294-22-6488

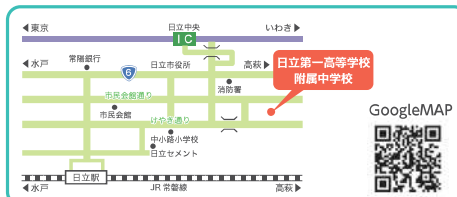
FAX 0294-21-4490

Mail koho@hitachi1-jh.ibk.ed.jp
HP <https://www.hitachi1-jh.ibk.ed.jp>

詳しい情報や学校の様子等は、本校ホームページ
をご覧ください。



HPはこちら



科学教育と国際教育に重点を置く

文科省 SSH 指定校

・平成19～23年度、平成24～28年度、平成29～令和3年度
令和4～8年度（令和9年度以降申請予定）

目指す学校像

高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する。

育てたい生徒像

1. 自ら課題を発見し、主体的に「やり抜く」ことのできる生徒
2. 物事を理性的に判断し、筋道を立てて議論できる生徒
3. 高いモラルと豊かな感性を持ち、リーダーシップを発揮できる生徒
4. 運動の楽しさや喜びを知り、自ら健康を管理できる生徒

「たかみ」を目指せ!!

高い志

- 「ノブレス・オブリージュ」の精神に基づいたリーダーシップ
- 「自主・自律」の精神

- 1「ノブレス・オブリージュ」の精神を基盤にした教育活動の推進
- 2 自主的・自律的態度を育てる特別活動の充実
- 3 リーダー育成を図る学校行事・異学年、中・高交流の充実
- 4「考え、議論する道徳」への授業改善
- 5 心の居場所となる学級づくりの推進

科学する心

- 高い知識を基盤にした「思考力・判断力・表現力」
- 科学的根拠に基づいたディスカッション能力
- 自ら学ぶ豊かな探究心

- 1 附属授業スタイル「附属メソッド」の構築
- 2「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり
- 3 多様な考えを引き出すICTを活用した授業の推進
- 4 数学科・英語科における先取り学習の充実
- 5「サイエンスリテラシー」等の理科教育の充実

未来を拓く力

- 最後まで諦めない「やり抜く力（GRIT）」
- グローバル社会に対応した国際教育
- 「文武両道」の精神

- 1「やり抜く力」の育成を図る特別活動の推進
- 2 キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実
- 3 読解力を育て、感性を磨く読書活動の充実
- 4 魅力ある体育的活動の推進
- 5 自己管理能力を高める健康教育の充実
- 6 イングリッシュタイム、語学研修、グローバルコミュニケーションの充実

附属中学生会長挨拶

第3学年 菊池 陽士（日立市立宮田小学校出身）



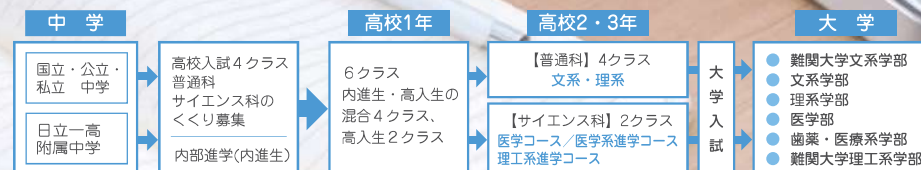
皆さんこんにちは！
「夢の中学校生活」と聞いて、どんな日々を思い描きますか？
附属中には他の学校では決して味わえない、ここだけの「青春」があります。
附属中ならではの特色といえば、やはり、ハイレベルな学習環境です。SSHに特化した授業や、英語と数学の先取り学習を筆頭にどの1コマを切り取っても附属中の「色」がある、まさにここだけの学習環境です。また、中高一貫の醍醐味でもある、一高生と共に創り上げる白壁祭や体育祭などの行事は、全力で挑めば挑むだけ最高の思い出を作ることができます。
さらに、高い志を持った仲間と共に切磋琢磨して勉強や部活動に励むことで、自分でも未だ知らない、自身の可能性を磨くことができます。
この附属中には、一人一人の未来を彩るための環境が整っています。
是非この学校で私たちと共に、勉強も、部活動も、青春も欲張ることのできる充実した学校生活を送りましょう！



併設型中高一貫教育

学科・学級の編成

※ 附属中学校において先取り学習を行う数学や英語について、高校においても進捗別や習熟度別で授業を展開するなどの対応をします。



高校2年次以降、サイエンス科の数学や理科の授業は最難関大学入試に対応した内容です。

附属中学校の一週間の授業時数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
1年	国語	4	社会	3	数学	5		理科	4	音楽	1.5	美術	1.5	保健体育	3	技術・家庭	2		英語	5	道徳	1	学活	1	総合	2							
2年	国語	4	社会	4	数学	5		理科	4	音楽	1	美術	1	保健体育	3	技術・家庭	2		英語	5	道徳	1	学活	1	総合	2							
3年	国語	5	社会	4	数学	5		理科	4	音楽	1	美術	1	保健体育	3	技術・家庭	1		英語	5	道徳	1	学活	1	総合	2							

令和4年度から一週間の授業時数を変更し、英語と数学の授業時間数を大幅に増加させました。

附属中学生の一日

●月・水・金

朝の会	8:10
1校時	8:25～9:25
2校時	9:35～10:35
3校時	10:45～11:45
給食	11:45～12:30
4校時	12:35～13:35
5校時	13:45～14:45
6校時	14:55～15:55
帰りの会	15:55～16:05

●火・木・カセット

朝の会	8:10
1校時	8:25～9:25
2校時	9:35～10:35
3校時	10:45～11:45
給食	11:45～12:30
4校時	12:35～13:35
5校時	13:45～14:45
清掃	14:45～15:00
イングリッシュタイム(ET)	15:00～15:15
帰りの会	15:15～15:25

●令和8年度 中学1年1組の前期時間割

	月	火	水	木	金	カセット
1	学活	保健体育	道徳	理科	学級活動	英語
2	社会	技術・家庭	英語	保健体育	理科	社会
3	理科	国語	国語	数学	音楽	国語
4	国語	数学	総合	社会	数学	理科
5	保健	技術・家庭	総合	英語	保健体育	数学
6	英語	(清掃・ET)	美術	(清掃・ET)	英語	(清掃・ET)

- ・中高共通で60分授業です。
- ・5時間授業の日は、清掃とイングリッシュタイム（ET）を実施しています。
- ・エアコン完備、ホワイトボード、電子黒板など整った環境です。



制服

令和3年度より女子生徒の制服に「スラックス」が追加され、6年目になりました。スラックス着用時は、専用のネクタイ着用になります。



ICT機器を活用した授業

6年間における 特色ある

日立第一高等学校附属

中 1

基 礎 期

中 2

充 実

原則として

科学教育

◆総合的な学習の時間「サイエンスリテラシー」

- グループによる 中学2年2月 SSH成果発表会、中学3年6月 SSH研究発表会では、研究活動及び発表 自分たちでGoogleスライドを活用してポスター作成、発表

◆理科における「観察・実験」の充実

- 個人の自由研究支援
- 高校と共有している理科室を使用して充実した実験活動



◆SSH、科学教育と連携した活動

- 日本科学未来館等を見学して科学技術や生態系を学ぶ
- 日立一高生から科学を学ぶ「白壁ネイチャースクール」
- 日立一高教員による日立市の地形、生物、植物研修（東滑川海浜緑地のヒカリモ観察、神峰公園の地層見学など）
- SSH科学講演会を中高合同で開催
- 日立一高生と一緒に、最先端に行く研究者から研究の進め方や困難の克服の仕方、研究者を志したきっかけなどの講演を聞く「科学講演会」



▲科学講演会

▼ヒカリモ観察

国際教育

◆グローバルコミュニケーション

- 言語表現及びコミュニケーション能力の育成、国内外の文化比較による国際理解
- 中1（日本語で）自己PRスピーチ、複数のテーマでディベートマッチ
- 中2（英語で）落語を話す、県内のSDGsへの取り組みについてプレゼンテーション発表
- 中3（英語で）日本の魅力についてのプレゼンテーション、国内外の文化を比較しながら、社会問題を多角的に考察する探究活動、シンガポール海外語学研修で現地大学生とのディスカッション



▲グローバルコミュニケーション

◆ICT機器の積極的活用

- アプリを活用して発音、リスニング力の強化
- Googleスライドを活用してプレゼンテーション能力の向上
- 個に応じた学習支援

◆国際交流の実践 中学 国内語学研修、海外語学研修

高い学力

◆60分授業カセット時間割による国数数理英を中心に授業時間の増加

◆中高一貫校の特色を生かしたハイレベルな授業

- 数学と英語は中高一貫校向け教材を使用して高1の内容を先取り学習
(例) 中1 中1 正の数と負の数～中2 1次関数
中2 中2 図形と合同～中3 図形と相似
中3 中3 円～三平方の定理、高1 数と式、2次関数、三角比、集合と命題
- 国語、社会、理科は、高校と連携した深化、発展的学習



宿泊を伴う行事

1年生 5月 オリエンテーション合宿 (1泊2日)

学校生活を送る上での心がまえを学び、望ましい人間関係づくりを行います。

- 1日目 県立中央青年の家で野外炊飯
- 2日目 日本科学未来館の見学、東京大学で日立一高のOBの現役東大生を訪問



2年生 11月 プリティッシュヒルズ（福島県）国内語学研修 (2泊3日)

- 英語で異文化体験、英語の研修プログラム講座90分×6講座を行い、コミュニケーション能力を高めます。



教育活動

※年度によって行事の内容は変わることがあります。



中学校

中 3

期

日立一高へ進学



- R7 株式会社日立製作所 専門理事 研究開発グループ技士長 鈴木 朋子
演題「未来を創る知の融合：社会課題に立ち向かう次世代の役割」
パネリスト：池ヶ谷 和宏（ファシリテーター）、坂東 淳子、藤田 晋士、岸田 紗代子
- R8 演題「カーボンリサイクル最前線 ～低エネルギーなカーボンリサイクル技術の創出を目指して～」
講演：田中 光太郎 氏 茨城大学大学院 工学部機械システム工学科 教授
カーボンリサイクルエネルギー研究センター長
パネリスト：カシヨウ 李 龍栄 氏、矢木 啓介 氏、渡辺 敦夫 氏、高瀬 久美子 氏、榎本 京祐 氏

◆実践的英語力の養成 vol.1

- GTECスコア
新しい英語能力の到達度指標 CEFR-J 目標 A 2.2（英語検定準2級～2級相当）
- GTEC月間の設定
- ALTによるwriting、speaking指導



3

- 成果の一例
- R6 英語プレゼンテーションフォーラム茨城県知事賞
- R6 科学の甲子園ジュニア全国大会総合 優勝
(県立並木中等教育学校との合同チーム)
- R7 いばらきっ子郷土検定 茨城県大会 準優勝

3年生 2月 シンガポール海外語学研修 (前泊、機中泊を入れて5泊6日)

- 現地の大学生に日本の文化を英語でプレゼンテーションする交流会、班別活動、ホームステイ1日体験などを行います。



日立第一高等学校

高 1

高 2

高 3

発 展 期

飛躍期

◆高2から普通科・サイエンス科に進学

- サイエンス科内に医学コースを設置、国公立大学の医歯薬・医療系学部や難関大学理工系学部への進学に対応した特色ある教育課程
- 英語コミュニケーションⅡ、数学を少人数授業で実施
- 課題研究では、観察、実験等を通して、探究する能力と態度を育成



- 理化学研究所、日立研究所などで活躍する本校OBによる「サイエンスセミナー」
- 附属中学生に科学の楽しさを伝える科学系部活動部員による「白壁ネイチャースクール」
- 学ぶ力を高めるための課題研究「白壁ⅡⅢ」
- 学会、コンテストへの参加



◆高大連携セミナー

- 茨城キリスト教大学
英語総合講座（希望者）

◆実践的英語力の養成 vol.2

- 英検2級や準1級取得のための指導、GTEC

◆英語によるプレゼンテーション

- 各種発表会、各種コンクール、プレゼンテーションフォーラム 等

◆英語によるディベート

- コンテスト等への積極的な参加

高校 海外修学旅行、海外研修旅行、希望者による海外研修等

◆難関大学進学に対応する少人数授業（英語、数学）

◆進学課外（早朝・放課後・長期休業）

- 難関英語・国語、数学、医学部対策小論文 等



高2年 12月 普通科 海外修学旅行

台湾（3泊4日）



高2年 12月 サイエンス科 海外研修旅行

ベトナム（4泊5日）



高校 10月 海外語学研修

※希望者 選考試験あり R8 イギリス11日間





Science Education (科学教育)

科学の甲子園ジュニア

令和6年度

●全国大会（兵庫県姫路市）茨城県代表チーム

県立日立第一高等学校附属中学校と県立並木中等教育学校との合同チーム
総合成績第1位（文部科学大臣賞、トヨタ賞）、筆記競技第2位（内田洋行賞）、
実技競技①第1位（東芝賞）、企業特別賞（帝人賞）

私達は第12回科学の甲子園ジュニアで、学校内、茨城県内の予選を通過し、並木中等教育学校との合同チームで茨城県代表として全国大会に出場しました。

私達は特に実技競技に力を注ぎました。県大会では、安定して回転するコマの形を何度も試行して、実技競技第1位を獲得し、総合優勝を果たしました。全国大会では、日立理科クラブの方々の力を借りて、事前公開されている実技競技に向けて何度も試行し、本番ではチームワークや判断力を発揮して取り組むことができました。また、筆記競技に向けて高校の参考書を読んだり、過去問を解いたりしました。その結果、筆記競技は第2位を獲得し、そして総合優勝することができました。

放課後の時間を使って試行錯誤をすることも多くあったので部活動との両立が大変でしたが、この大会を通して全国の選手と交流し競い合う事ができて、貴重な経験になりました。

令和7年度

●茨城県大会

3チーム出場

（チームローレル、チーム白亜、チーム若葉）

チームローレル
県教育長賞 総合成績3位



古川 美心（日立市立大みか小学校出身）
内藤 美希（高萩市立高萩小学校出身）
桑原 佑史（東海科立中丸小学校出身）



附属中生の取り組み

いばらきっ子 郷土検定県大会



ICT 教育環境

Chromebook

クロームブック

附属中学校では、茨城県から生徒一人一人に対して Chromebook（クロームブック）が貸し出されています。

授業の調べ学習、各教科で課題の配信や提出、Google スライドを活用してプレゼンテーションの資料やスライドの作成、サイエンスリテラシーのポスター作成、Google classroom での学級連絡など、学校生活を送る上で欠かせないものになっています。



ワイドの使用

・ワイド（ウルトラワイドプロジェクター）、電子黒板などを授業で積極的に活用。動画や写真、資料などを分かりやすく提示しています。



イングリッシュタイム

・ET（イングリッシュタイム）で実用英語技能検定の練習、授業や行事の課題解決など、幅広い場面で活用しています。



生徒メッセージ



1年 秋生 寧々（日立市立河原原子小学校出身）

附属中では、自主性を重んじており、課題や提出物も自分で管理しなければなりません。初めの頃は慣れませんでした。自立心が育ち、生活していく上で主体的な行動の大切さを理解しました。また、1年生での大きなイベントであるオリエンテーション合宿では仲間の大切さはもちろんのことですが、附属中での生活をしていくにあたり、時間を守ること、見直しをもった行動、ルールやマナーを守ることや挨拶や返事を行うなどの人間性を磨く貴重な機会となりました。また色々な地域から集まっているからこそ個性がとてつもなく豊かで、お互いを認め合い、絆が深まります。先輩方も明るくフレンドリーな方が多く部活動での活動も充実し、楽しく学校に通うことができるとても幸せです。附属中はそんな仲間の中で自分に責任を持ち、周りの人とともに高みを目指すことができる良い学校です。最高の仲間と先生方が待っています。共に高みを目指しましょう！！



2年 小野 航汰（北茨城市立中郷第一小学校出身）

僕は附属中での一年間を通して感じた魅力は、大きく分けて二つあります。一つ目は、すぐに打ち解けられる友人ができたことです。新入生の皆さんは「友達ができるか」と不安に思うかもしれませんが、心配は unnecessary です。この学校には、白壁祭や体育祭、合唱発表会といった、仲間と協力して取り組む行事が豊富にあるからです。こうした活動を通じ、自然と絆を深めることができます。二つ目は、共に高め合える学習環境です。本校の授業はグループ活動が多く、対話を通して理解を深めることができます。先生方も親身にサポートしてくださるため、安心して学習に励めます。特に、探究学習「サイエンスリテラシー」では、自分たちで課題を立てて実験し、結果をまとめて発表するという貴重な経験ができます。皆さんも、この附属中で多くのことを学び、私たちと共に切磋琢磨しながら、さらなる高みを目指していきましょう！！



3年 糸澤 秀明（日立市立大久保小学校出身）

皆さんには叶えたい夢がありますか？私には「勉強の楽しさを子どもたちに教えたい」という夢があります。その夢をかなえるため、この学校に入学しました。附属中では、数学と英語の先取り学習が行われています。また、高校での指導経験が豊富な先生方も多く、進路について熱く語られる姿も印象的です。授業では、班ごとのディベートやプレゼンテーションなどを通して内容をより深く理解するとともに、リーダーシップやコミュニケーション能力、表現力を鍛えることもできます。さらに、自分たちで考えたテーマを1年かけて実験や調査を行い、ポスターにまとめて発表する「サイエンスリテラシー」や、日本や世界の文化を学び英語で発表する「グローバル」といった総合的な学習の時間も充実しています。高い志を持った仲間たちと常に「たかみ」を目指す環境です。また、学習だけでなく部活や課外活動にも全力で取り組んでいます。どの部活も目標を掲げ、学年の垣根を超えて一丸となって活動し、目覚ましい成果を収めています。個性豊かで何事にもまっすぐ全力で取り組むのが、附属中生の魅力です。皆さんも私たちと一緒に白壁の学び舎で青春を送りませんか？



International Education (国際教育)

英語プレゼンテーションフォーラム茨城大会

英語プレゼンテーションフォーラムは、決められたテーマについてチームで一つのプレゼンテーションを行い、質疑応答をする大会です。今年は、「茨城の魅力アッププロジェクト」がテーマで、自分たちでプロジェクトの内容を考えることから始め、発表練習、質疑応答に向けた練習をたくさん重ねてきました。練習の成果を発揮し、県大会出場という結果を取りることができました。大好きな仲間と互いに高め合いながら挑戦できて最高の経験になりました。



東京グローバルゲートウェイでの研修

県立高等学校等チャレンジプロジェクト



希望者応募者多数の場合は校内で抽選

学校行事(中学)



行事は変更されることがあります。

4月	新任式 始業式 入学式 対面式 定期健康診断開始 外部模試 保護者面談
5月	SSH 科学講演会 中1オリエンテーション(1泊2日) 授業参観 県北総体陸上 進路ガイダンス 第1回定期考査 避難訓練
6月	白壁祭 SSH 研究発表会 熱中症予防講話
7月	県北総体 県総体陸上 中高野球応援 吹奏楽コンクール 県総体
8月	学校説明会 中学 個別相談会(本校) 休業明け集会 第2回定期考査 中2 薬物乱用防止教室
9月	中1 歯と口の健康教室 外部模試 ホームルームセミナー 県北新人 前期終了
10月	県新人陸上 中2ブリティッシュヒルズ語学研修 (2泊3日) 県北駅伝 入学希望者向け公開授業 県新人大会 体育祭 創立記念日(28日) マラソン大会
11月	さわやかマナーアップキャンペーン 県総体駅伝 中3職場体験 第3回定期考査 合唱発表会
12月	中学入試願書受付 保護者面談 生徒会選挙(予定)
1月	中学入試 外部模試 第4回定期考査
2月	中学入学予定者説明会 中3シンガポール語学研修 (5泊6日) SSH 成果発表会
3月	授業参観 難関大合格者との懇談会 卒業式、修了式 後期終了

部活動

軟式野球部



- R7 県北地区総合体育大会 準優勝、
県総合体育大会 出場
- R7 県北地区新人体育大会 準優勝、
県新人体育大会 出場
- R8 飛田郷旗中学校野球大会 準優勝

野球部は、「野球だけでなく、人生のレギュラーになる」を目標に活動しています。野球を通して立派な大人になれるように人生で大変なことを学べる部活です。高校野球部と一緒にトレーニングしたり、室内練習場など立派な施設を使うことができ他の中学校にはない強みもあります。今年は春の県大会相当の大会で準優勝でした。部員のほとんどが中学校からの初心者です。野球が大好きな人、大歓迎です。

サッカー部



- R7 茨城県新人体育大会 出場
- R7 県北地区新人体育大会 優勝

サッカー部は、あいさつや返事などの礼儀、日々の生活習慣を大切にするなど、サッカーだけではなく、人として大切なことを学びながら、毎日の活動に励んでいます。高校生と連携を図ったり、遠征に行ったりして技術を向上させ、上位大会を目指して頑張っています。サッカーが好きな人、大歓迎です!!

女子ソフトテニス部



- R6 茨城県総合体育大会 団体戦・個人戦出場
- R6 県北新人体育大会 団体戦3位 県大会出場
- R7 茨城県総合体育大会 個人戦出場
- R7 県北新人体育大会 個人戦9位 県大会出場

「愛されるソフトテニス部」を目標に、1年生5名、2年生4名、3年生5名の計14名で日々の練習に励んでいます。現在の目標が団体戦で県大会出場、個人戦で県大会1勝です。技術の向上はもちろん、誰かにも応援されるような礼儀やチームワークを大切にしています。部員の多くが中学校からのスタートなので、経験者はもちろん、初心者も大歓迎です。一緒に充実した学校生活を送りたい!!

剣道部



- R5 県北新人体育大会 男子団体の部 優勝 県大会出場
- R6 県北総合体育大会 男子団体の部 3位 県大会出場
- R7 県北総合体育大会 女子団体の部 優勝 県大会出場
- R7 茨城県総合体育大会 女子団体の部 第7位(敢闘賞)
- R7 県北新人体育大会 女子団体の部 優勝 県大会出場
- R7 茨城県新人体育大会 女子団体の部 第5位(敢闘賞)

「明るく・元気に・前向きに」を合言葉に、県北地区最多の27名で活気ある稽古に励んでいます。年々実力を上げ、現在は県・関東大会出場が目標です。技術向上だけでなく人間の成長も大切にしており、部員の多くが中学校からの初心者スタート。経験者はもちろん、新しい挑戦をしたい初心者も大歓迎です!一緒に頑張りたい!!

ラグビー部

- R5 茨城中学校合同チームに加入
- R6 関東中学校ラグビーフットボール大会(埼玉県熊谷市)
茨城中学合同チームで出場

R7、R8は部員0のため休部

吹奏楽部



- R7 吹奏楽コンクール県大会 中学生の部B部門
金賞(7年ぶり2回目)
- R7 茨城県アンサンブルコンテスト県北地区大会
打楽器九重奏 優秀賞
金管五重奏 優秀賞
木管八重奏 優秀賞、代表
- R7 茨城県アンサンブルコンテスト(木管八重奏)
銅賞(3年連続県大会出場)

私たちは、たくさんの仲間と吹奏楽コンクール「東関東大会出場」を目標に、日々一生懸命に練習に励んでいます。高校の吹奏楽部との関係が深く、合同練習や定期演奏会などを行っています。よりよい演奏をつくり上げるために、各々が努力し、最大限輝ける部活動です!音楽が好きな人、楽器を吹いてみたい人、どなたでも大歓迎です!

女子バレーボール部



私達は学年関係なく仲の良い、賑やかな部です。バレーボールは団体戦。部員同士声を掛け合いながら、チーム全員でボールをつなぎ、試合での勝利に向かって、日々全力で練習に励んでいます。

- R4 県北新人 ベスト16
- R6 県北総体 ベスト16
- R7 県北新人 ベスト16

卓球部



- R7 県北新人 女子団体の部 優勝
- 県新人 女子団体の部 第3位
- 県新人女子シングルス ベスト16位 松下百花
- 関東中学校選抜大会 北関東中学生大会出場

卓球部は「技術・心・体力の向上」を目指し、男女共々活動しています。昨年の新人戦では、女子は県北大会で優勝し、そのまの勢いで県大会第3位となり、関東選抜大会や北関東中学生大会に出場しました。今年の総体でも関東大会を目指して、日々練習に励んでいます。初心者でも技術を身に付けることで強くなれるのが卓球の面白さです。入部お待ちしています。

科学部



- R6、R7 IBARAKIドリーム・パス NEXT50
「ギリギリ食べられるかもしれない?野菜鉛筆」
けんてん科学技術振興奨励賞 中学校の部
「水害を防ぐのに適した露地の研究について」 奨励賞
- R7 一般社団法人 電気学会U21学生研究発表会
「雨の日だって発電したい!小型水力発電機」

科学部は男女関係なく、科学が好きな人なら誰でも楽しめる部活動です。行事は「エフェスびたち」「科学の祭典日立大会」で体験ブースの出展をしたり、「サイエンスショーフェスティバル」に参加したりしています。各自がテーマを決めて研究を重ね、ポスターや論文を発表しています。

今年度の部活動休養日と練習時間について

休養日について

平日：木曜日を休養日とする。
休日：原則として、土・日のどちらか、
第1週と第3週の土・日を休養日とする。

練習時間について

平日：放課後2時間以内
休日：3時間以内

※県部活動の運営方針を遵守、
日立市体育連の規約に準じる

もっと教えて! 日立一高

普通科 サイエンス科 あなたの学びたいことはここにある!

高校1年次

- 普通科及びサイエンス科の区別なく、6クラス全員が同じカリキュラムで学習します。
- 高校入試で入学する生徒(高入生)、附属中学校出身の生徒(内進生)で切磋琢磨し、学習意欲の向上と様々なリーダーの育成を図ります。

高校2・3年次

「普通科」4クラスと「サイエンス科」2クラスに分かれます。



普通科

高校2年次以降、以下の2コースに分かれて学習

■文系コース ■理系コース

- 少人数指導や習熟度別授業
- 難関大学文系学部、国公立大学理系学部への進学に対応した授業と進路指導
- 医療系大学進学対策講座の実施
- 海外修学旅行 ※R9年度は台湾

サイエンス科

高校2年次以降、以下の3コースから選択

■医学コース ■医学系進学コース ■理工系進学コース

- 白堊研究** 科学的な探究心、プレゼンテーション能力の育成を目指す
- メディカルセミナー** 医師による講演、医学部生との交流、医療機関での実習等
- サイエンスセミナー** 理化学研究所訪問、茨城大学の研究室訪問、日立製作所日立研究所の研究者との交流等の実施
- 海外研修旅行** 異文化理解、現地企業訪問、現地学生との協働学習 ※R9年度はベトナム

スーパーサイエンスハイスクール 20年目 挑戦を重ねてきたSSH

第Ⅳ期5年次 第Ⅳ期の集大成、その先へ! さらに大きく前へ!

研究開発課題 「科学的思考力を持ち、ディスカッションができるリーダーの育成」

グループ・ディスカッションで進める「課題研究」に関する授業が充実

1年次

白堊研究Ⅰ

研究の仕方の基礎を学ぶ
統計学とICTスキルの習得



白研I&総探ともにICTを活用



大学教員を講師に招聘して実施する「統計学講座」

総合的な探究の時間(1年次)

- 発表の仕方や質問力の育成
- 自己のキャリアにつながる探究



探究活動と発表(質問力向上)



2年次

サイエンス科 白堊研究Ⅱ

- 生徒が自分で考えた科学的テーマでグループ研究(数物化生地)
- 茨城大学工学系大学院生のチューター
- 1~2月の成果発表会での発表(ポスター)



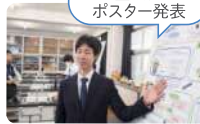
普通科 白堊タイム

- 生徒が文理9教科から自分で選んだテーマでのグループ研究
- 1~2月の成果発表会で発表(スライド)

3年次

サイエンス科 白堊研究Ⅲ

- 概要(Abstract)を英語で記した論文作成
- 成果発表会後の追加実験▶研究発表会で発表



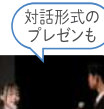
研究発表会(白堊研究Ⅲ)

普通科/サイエンス科 SSH研究発表会

- 白堊研究Ⅲ(数物化生地)、白堊タイム、科学系部活動、附属中学校の代表による口頭発表
- 白堊研究Ⅲと附属中学校3年生によるポスター発表



質疑応答も活発!



対話形式のプレゼンも

研究発表会(白堊タイム)

●大学入試合格

医学部医学科

筑波大学(1) 山梨大学(1)
福島県立医科大学(1)
国際医療福祉大学(1)

国公立大学

東北大学(3) 筑波大学(7) 横浜国立大学(1)
東京都立大学(2) 茨城大学(7) 千葉大学(2)
宇都宮大学(2) 埼玉大学(2) その他(12)

私立大学

早稲田大学(10) 慶応大学(3) 上智大学(2)
東京理科大学(9) 明治大学(8) 青山学院大学(6)
立教大学(2) 中央大学(8) 法政大学(7)
学習院大学(1) その他私立大学(75)

海外大学

上海中薬大学(1)



合格

日立一高附属中 1期生~9期生までの進学実績



9期生からのメッセージ

筑波大学医学群医学類

● 赤須 優斗(ひたちなか市立藤戸小学校出身)



日立一高附属中では、高校受験にとらわれず、早い段階から大学受験を見据えた学習に取り組むことができます。一部の教科では高校範囲の先取り学習も行われます。

授業以外の活動も大きな魅力です。科学研究に必要な知識や手法を学んだり、ネイティブスピーカーに向けたスライド発表を通して実践的な英語力を養うことができます。また、高校生の研究発表を見学したり、中高合同の文化祭や体育祭に参加したりする中で、一足先に高校の雰囲気を感じられるのも特徴です。

個性豊かな仲間たち、そして熱意あふれる先生方に囲まれた3年間は、皆さんを大きく成長させます。ここでの経験を糧に、皆さんが活躍していくことを願っています。

東京外国語大学言語文化学部

● 石田 千晴(日立市立成沢小学校出身)



日立一高附属中では、高校受験がないため自分の興味があることや好きなことに6年間チャレンジすることができます。私は高校、高校どちらも部活で研究活動に励み、様々な賞を獲得し、大学で学びたいことを見つけることもできました。また熱意ある仲間と切磋琢磨することで勉強へのモチベーションを維持し、充実した生活を送ることができました。

その他にも英語研修や研修旅行、白堊祭などの魅力的な行事にあふれています。ぜひ日立一高附属中から笑顔のある学生生活を送ってみませんか。

医学部

大 学	1~9期生
筑波大学	13
東京医科歯科大学	1
福島県立医科大学	4
信州大学	1
東京医科大学	2
防衛医科大学	1
国際医療福祉大学	3
山梨大学	1
東北大学	2
秋田大学	1
大分大学	1
自治医科大学	2
北里大学	3
東海大学	1
日本大学	1
計	37

早稲田大学文学部

● 北野 さつき(日立市立宮田小学校出身)



日立一高附属中学校は高校受験がないため、中高6年間を通して好きなように使える時間がたくさんあることが大きな強みだと思います。勉強だけではなく、部活や校外での活動などに打ち込む人が多くいた環境はとても刺激になりました。多様な分野で力を発揮する同級生たちと切磋琢磨しながら過ごした時間は、今の私にとってかけがえのないものです。

また、文化祭や研究発表などを通して高校生と交流できる点も魅力の一つだと思います。今、日立一高附属中へ入学を考えている後輩のみなさんが、この学校での6年間を自分なりに駆け抜けて大きく成長していくことを願っています。

東北大学工学部化学バイオ工学科

● 野内 陽向(常陸太田市立佐竹小学校出身)



日立一高附属中では、高校受験がないため自分の興味があることや好きなことに6年間チャレンジすることができます。私は高校、高校どちらも部活で研究活動に励み、様々な賞を獲得し、大学で学びたいことを見つけることもできました。また熱意ある仲間と切磋琢磨することで勉強へのモチベーションを維持し、充実した生活を送ることができました。

その他にも英語研修や研修旅行、白堊祭などの魅力的な行事にあふれています。ぜひ日立一高附属中から笑顔のある学生生活を送ってみませんか。